

地域がん診療連携拠点病院

当院は「地域がん診療連携拠点病院」として、地域の医療機関や他のがん診療連携拠点病院との連携を密にして、より良いがん診療を提供していきたいと考えています。当院では1階「よろず相談室」で緩和ケア認定看護師を中心とする看護スタッフが、がんに関するさまざまな質問や相談におこたえしています。



医療機能評価認定病院

医療機能評価とは、『財団法人医療機能評価機構』が医療機関の第三者評価を行い、質の高い医療サービスを提供していくための支援を行うことを目的としています。当院は、平成10年に栃木県で初めて認定を受け、以後5年毎に更新認定を受けております。最近では、平成25年2月に4回目の更新審査を受け、認定されました。



地域医療支援病院

地域医療支援病院は、他の病院または診療所から紹介された患者さまに対して医療を提供していること、医療機器などを地域の医療機関と共同利用できること、救急医療を担っていること、地域の医療従事者のために研修を行っていること、などの役割があり、都道府県知事の承認を受けます。当院は「地域と共に進化し続ける病院」のビジョンの下、急性期医療・救急医療を担い、ますます信頼される病院を目指していきます。

リレーエッセイ

心の健康法



看護部長
大竹 信子

人々は日々の生活の中で、何らかの形でストレスを感じながら生活しています。私や、ストレスとは「心の疲れ」と言い換えることができず。生活している中では、「心の疲れ」に関する感受性の高い方は現在の「新しいうつ」になりやすいのではないかと感じています。感受性の低い私でも時折「心の疲れ」を感じることはあります。この「心の疲れ」をいかに対処するかは、それぞれ個人にあった対処方法を持つことが大切なのだと思います。

私の対処方法は「温泉」に入ることです。もともと旅行好きであり温泉めぐりが好きだったこともあり、週末時間が空けば高速を利用し那須・日光・塩原・大田原・福島などに足を運び、日帰り温泉で汗を流す日々です。そこから「頑張ろう」という気持ちになれるのです。そう！私が温泉に行くことは、「身体の疲れ」を癒すというより「心の疲れ」を癒していると思っているのです。温泉は私にとって「心の健康法」だと思っています。

本来ならば、「身体の疲れ」を癒すのが普通なのでしょうが……！皆様は、どんな「心の健康法」をお持ちですか？



ちょこっとメモ

12月1日

映画の日

映画の日は日本における映画産業発祥を記念する日として、1956年に日本映画連合会によって制定されました。この日は映画関係者への表彰や映画館入場料の割引などのイベントが行われ、現在映画館で行われている様々な割引サービスへの元祖といわれています。お家でゆっくりDVD鑑賞するのもいいものですが、やはり大きなスクリーンと音で見ると迫力が違います。気になる作品などありましたらぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



編集後記

みやわの編集スタッフのわ



いつもみやわのわをお読みいただき、ありがとうございます。最近は一日ごとに秋の色が濃くなってきました。秋には「秋の夜長」「秋の日はつるべ落として」といった夜の長さを表現した言葉があります。実際には冬至といわれる12月下旬が一番長い時期のようですが、秋は日の落ちる時刻が急激に早くなるため、その変化の大きさがあたたか夜が長いように感じさせるのかもかもしれません。この時期は気温・湿度とも程よく、過ごしやすい気候になるため、つい趣味などに没頭し夜更かしをしてしまいがちです。寝不足で翌日の仕事に影響が出るといったことがないよう、しっかりと睡眠時間を確保して規則正しい生活を心がけていきたいと思っております。